

# 令和元年度 学校評価

(教育課程特例校としての工夫を通して)

評価	4: 良い	3: やや良い
	2: やや悪い	1: 悪い

○:評価できる点 ●:反省点 ◇:改善策

領域	評価項目		5段階評価平均	問題点・改善策
1 教育目標	1	学校の教育目標は適切で、全職員に理解されていたか。	3.1	◇1 ◇5 再確認の場を設定する。
	2	学級経営に生かされているか。(学級担任)	3.1	
	3	各教科等の指導に生かされているか。	2.9	
	4	生徒の日常生活の指導に生かされているか。	3.1	
	5	保護者が理解し、協力するための方法が取られたか。	2.9	
2 教育計画	6	定期テストの実施時期、回数は適切であったか。	3.5	○9 臨時休校による影響があった。
	7	行事の数、月別配当は適切であったか。	3.6	
	8	週時程、校時程は適切であったか。	3.5	
	9	授業時数は確保されたか。	3.5	
3 教科	10	朝の学習は計画的また、効果がある取組であったか。	3.2	○10 2-3は実態を踏まえ、2月までは読書を行い、3月から学習を始めた。 ●11 学年・学級によって差があった。 ◇11 統一した取組の徹底と相互による情報共有と確認を行う。 ●11 課題の提出について不十分な面が見られる。立腰の姿勢が崩れている生徒が多いように感じる。 ◇根気強く指導していく。 ●14 話し合い活動は取り入れているが、生徒の思考を深めるための話し合いになっていないときがあった。 ●15 時間確保が必要である。
	11	基本的な学習態度・学習習慣の指導は適切であったか。	2.8	
	12	授業で基礎・基本の確実な定着を図っているか。	3.3	
	13	生徒の実態に応じた指導方法や評価の工夫・改善を行ったか。	3.3	
	14	言語活動の充実を図ったか(話し合い活動、発表、レポート作成等)。	3.1	
	15	教科や学年等で指導方法の検討や、授業の取組等の情報交換等の連携が図られたか。	3.1	
	16	購入した副教材を適切に活用したか。	3.5	
4 道徳	17	副読本を十分活用したか。	3.3	○18 2-3での道徳は生徒の実態を踏まえて教科書の資料を工夫した。 ◇20 指導力向上をねらい、道徳の校内での研修にも取り組む。
	18	主題のねらいにふさわしい資料等が準備されたか。	3.1	
	19	授業は年間計画に従い、適切に進められたか。	2.6	
	20	道徳的心情、判断力、実践意欲と態度は育っているか。	2.9	

5 特別活動	21	学級活動は、適切に行われたか。(学級担任)	3.4	○25 朝のあいさつ運動に主体的・積極的に参加している。 ○25 全国給食週間に向けて、給食委員会が中心となり活動できた。 ●25 生徒一人一人の差が大きい。 ◇ 学級の係の徹底と自覚向上を行い、全体での取組につなげる。 ◇26 関わり方を見直し、改善していく。
	22	学年に応じた適切な進路指導(キャリア教育)がなされたか。(学級担任)	3.3	
	23	計画的、継続的な教育相談がなされたか。(学級担任)	3.3	
	24	生活の記録や家庭学習の指導は、適切に行われたか(学級担任)	3.3	
	25	生徒は生徒会の諸活動に、主体的・積極的に参加していたか	3.2	
	26	生徒会活動に対する教師の指導は適切であったか。	3	
6 学校行事	27	行事の内容は、適切で計画的に実施されたか。	3.5	◇「My弁当の日」第2回が10月、第3回が11月にあるので負担が多い。家庭科等の教科と連携し、回数を減らす事も検討したい。 ◇駅伝大会は現行のやり方では成果が低いように思われる。小中連携の工夫が必要である。係など相互協力や、会場の共有、小中混合のプログラムなど検討したい。また、校内においても大会打ち合わせや役員のリハーサルなどの工夫も必要である。 ◇1年吉都線体験学習は実施時期の検討をしたい。 ◇行事によっては、保護者や他の期間の都合が許せば負担軽減のための平日実施を検討したい。 ◇3年生の朝学習スタートは改善の必要がある。勤務開始や働き方改革の視点からみて検討すべきである。
	28	行事の指導のねらい・重点が明確にされていたか。	3.4	
	29	生徒は行事に積極的に参加・協力したか。	3.6	
	30	行事の事前・事後の指導は十分であったか。	3.3	
7 学級経営	31	学級経営方針に一貫性があり、生徒に浸透していたか。(学級担任)	3	●31・32 学級によって差がある。 ◇相互の見届けやチェック体制を改善する。 ●32 内容が薄いことがある。 ●33 技術室は整理の必要がある。 ●34 生徒の取組の差に対応した指導が不十分だった。
	32	朝の会、帰りの会の運営は適切だったか(内容、始まり・終わりの時間等)。	3	
	33	教室環境の整備はよくなされたか(教室設営・特別教室を含む)。	3.1	
	34	係活動で一人一人の個性が生かされたか。(学級担任)	3	
	35	日直(週直)の指導は、適切であったか(最後まで見届ける等)。	3.5	
	36	通信等で家庭との連携を図っているか。(学級担任)	3.6	

8 生徒指導	37	職員間の日常的な連携による生徒指導がなされているか。	3.5	○37 情報交換がよくされている。 ○37 学年間の連携、他学年との連携ともによかった。
	38	基本的な生活習慣の指導に力を入れたか。	3.2	
	39	小さな事を見逃さないという意識で指導にあたっているか。	3.5	
	40	問題行動の生徒の指導は適切であったか。	3.3	
	41	家庭、諸機関との連携は適切であったか。	3.3	
9 研修	42	主題研究は、テーマ・年間計画にそった研究が適切になされたか。	3.2	●42 テーマを繰り返し確認する必要がある。 ◇43 校外研修の場を設定する。 ●46 連携までできていない。前向きに取り組むべきである。研修の内容の充実も課題である。 ●46 小中合同研の他の部会の情報が分かるような工夫が必要である。
	43	一般研修は適切な内容が設定され、意義があったか。	3	
	44	校内研修に意欲的に参加したか。	3.1	
	45	校外研修に積極的に参加したか。	3	
	46	小中一貫教育に関する職員の意識は高まってきているか。	2.6	
	47	研修の成果が、実践的に生かされたか。	2.9	
10 その他	48	人権教育は、十分に実践されたか。	3.2	○49 各学年、計画・実施が主体的に行った。 ●51 52教師の移動が遅いことがある。 ◇51 教師が時間を守るよう率先して行動する。 ◇52 給食当番の移動について指導する。→クラスでも対応する。 ●53 朝のあいさつは、形式的になっておる。心のこもったあいさつができるような指導ができていない。 ●53 ボランティアへの認識が、「朝の活動」を出ない生徒が多い。 ●53 「やらされている」意識が大きい。本来あるべき自主的、自発的活動になるようにする。 ◇取組自体はすばらしいので、生徒の中から様々な活動(発案・計画・実行)ができるとよい。 ◇53 精神を高めるには、あいさつ運動を含め教師の積極的な支援や賞賛、アドバイスが必要である。
	49	えびの学は、計画的に実施されたか。	3.4	
	50	えびの学の内容の工夫・改善がなされたか。	3.3	
	51	清掃指導は適切に行われたか(無言清掃、教師が早く清掃場所に行く等)。	3.2	
	52	給食指導は、適切に行われたか(教師が早く教室に行く等)。	3	
	53	生徒のボランティア精神は高まってきているか。	2.8	